

毎日が、散歩の途中

窓辺の仕事場から

文と絵 岡本杏子



杏

家で原稿を書く時間が長い。私は、わが家でいちばん陽あたるのいい窓辺を占領して大きな机を置き、そこを「仕事場」と称している。

マンションの4階、ベランダに面した一間の窓からはいろんなものがよく見える。キラキラ光る多摩川の川面、川向こうの町並み、川沿いの道や高速道路を行き交う車、几帳面にV字を描いて飛ぶ鳥たち。そんな風景を私はとても気に入っている。

でも、窓辺の「仕事場」は陽あたり抜群な一方、外気の寒暖がもろに伝わって冬と夏はかなり過酷だ。そして、この冬は特別寒かった。

我が家は私が旗振り役となり一家をあげて節電体制。家の連中に口うるさく言っている手前、私ひとりかぬくぬくというわけにはいかない。

シンシンと忍び込む冷気に對抗すべく、この冬の私は例年になく重装備で臨んだ。靴

下の2枚履き、マフラー、帽子、手袋など、基本の服装はコート以外の外出スタイルだ。その上に毛布を巻き、湯たんぽ入り段ボールに足を突っ込み、ひざにはアンカ代わりの猫を乗せる。我ながら、これ以上はない完璧なスタイルだった。

ところが、盲点があった。キーボードを打つ指先だけは出しておかねばならなかったのだ。仕方なく手袋を指先が出るタイプに変え、かじかむ指先を時折こすりながら、私はつらい冬の仕事に耐えた。（嫁入り先が魚屋や花屋でなくてよかった。）

そういうえば盲点はほかにもあった。玄関のピンポンが鳴っても即座にインターホンにたどりつけず、宅急便のお兄さんが帰ってしまいそうになったことがあった。

さて、この原稿を書いてい

今日は、打って変わって気持ちのいいばかばか陽気。肩

に感じる陽射しは暖かく、木の春がようやく近づいてきたと感じる。昼間、本紙編集長からも、「わがベランダの梅の盆栽、今朝一輪ほころびました！」とメールで春の便りをもたらったばかりだ。

今年梅の開花がかなり遅れて気をもんだが、桜の開花予想は「平年並みか少し遅い」のどか。あまりにもつらいことの多かった去年。それだけに今年の桜は、去年の桜ともそれ以前の桜とも違って見えることだろう。

仕事場から見える桜の枝はまだ黒々。でも、きつと中では力の限りいろんな準備をしているはずだ。期が熟せば必ず咲くのが花。そんな植物の生命力を、今年はしっかり見つけていたいと思う。

岡本杏子(あまもと きょうこ) 神奈川県生まれ、世田谷区在住のライター。店舗・住人・人物の取材執筆を得意とする。今までに経験した職業は安さんや専業主婦、モデル、ライターと正社員を含めて20を超えるが、ライター業は15年。数多と猫の愛をよみかき、一女の母。

特別寄稿

チョコパイ授業

朝日新聞社 牧野愛博

2月16日、弊社が行っている「出前授業」の一環で、神奈川県にある女子中学校にお邪魔した。この学校では、各クラスが朝日新聞を購読してくださっていて、新聞を使った授業をしているのだそうだ。たまたま、私がソウル駐在時代に書いた、「チョコパイ騒動」という記事を気に入って下さり、筆者として呼ばれたというわけだ。

「チョコパイ騒動」とは、昨年秋に韓国との軍事境界線のすぐそばにある北朝鮮・開城工業団地で起きた事件のこと。ここに韓国企業10社が操業しており、北朝鮮労働者

約5万人が働いている。1ヵ月あたり100ドル程度の安い人件費が魅力の韓国側と、貴重な外貨が稼げる北朝鮮側の思惑が一致して2004年末から操業している。そこで、賃金とは別に労働者に出される「おやつ」のチョコパイが、北朝鮮内で広まって騒ぎになっていく、というお話だ。

私がお話をさせて頂いたのは、中学1年生ばかり約200人。事前に先生から「相当難しい話をしてもらえないか」と言われたけれど、理解できます」と言われたけれど、なるべくわかりやすく話をしようとして、結構悩んだ。

「なぜ、北朝鮮に韓国企業の工場があるのか」「なぜ、チョコパイがおやつに出されているのか」「北朝鮮には、どんなおやつがあるのだろうか」等々、生徒さんが考えそうな疑問を事前に予想して、改めて取材メモをひっくり返して勉強し直した。

韓国では、まだまだ日本ほど菓子文化が発達しているわけではなく、「お菓子と言えばチョコパイ」と位置づけられていること。開城工業団地では、社会主義の北朝鮮を相手にする以上、基本的には従業員に同額の給料が支払われていること。実際には北朝鮮当局が力ネを受け取り、従業員にはクーポン券などが支払われていること。

従業員にやる気を出させるため、韓国企業がチョコパイを成果給と位置づけていること。それが、北

朝鮮の社会主義経済を破壊していること。

等々を、つたない経験と知識で冷や冷やしながら伝えた。

直前の出張の際に、ソウルのコンビニで買求めたチョコパイ1箱も持参して、乏しい話に少し彩りを添えて許して頂くとうと画策もした。

それでも、皆さんからたくさん質問を頂いて嬉しかった。

日紙の場合、短い記事に色々なデータを盛り込みたいため、前日まで伝えた事実を省略するケースが多い。読者の方が関心を持ってそうな面白いエピソードも、本筋に必要な場合は原稿から削ることもある。生徒さん達から出された質問を受けながら、私たちが抱える課題を改めて考える良い機会を頂いたと思った。

町ネタ

東南西北

尾田栄一郎監修
ONE PIECE展
原画×映像×体感のワンピース

開催中(6月17日(日)祝)
森アーツセンターギャラリー(六本木ヒルズ)
05777-8600 (ハローダイヤル)
一般2,000円

1997年から「週刊少年ジャンプ」(集英社)で連載中の人気マンガ「ONE PIECE」。作者の尾田栄一郎氏が監修する初めての展覧会が2012年3月、東京・六本木ヒルズの森アーツセンターギャラリーで開催します。「ONE PIECE (ワンピース)」は伝説の海賊王が残した「ひとつなぎの大秘宝(ワンピース)」を求めて、主人公モンキー・D・ルフィと仲間たちが繰り広げる海洋冒険ロマンです。ルフィは「悪魔の実」という不思議な実を食べ、体がゴムのように伸びるようになった「ゴムゴムの実」の能力者。海賊王を目指す旅の途中で個性豊かな仲間たちに出会い、「麦わらの一味」を結成し、絆を深めながら強大な敵に立ち向かいます。64巻まで発行されている単行本の累計発行部数は2億5千万冊を超え、海外でも翻訳され人気を集めています。海抜200mの六本木ヒルズ52階の会場では、ルフィたちが乗り込む海賊船「サウザンドサンダー」の巨大な帆柱と海賊旗が来場者を迎えるほか、物語中の印象的な場面の再現やまるで海賊船に乗り込んだかのような大迫力の映像で原作の世界観を体感できます。体感型のインタラクティブアートなども満載の本展では、尾田氏が本展のために描き下ろした特別原画を含め、貴重な原稿やカラー原画約100点が展示されます。

インターネットで写真を注文

7円より

ヤフー・グーグルで検索

アオヤギ写真 検索

自宅・オフィスから気軽に注文 メール便でお届け

AOYAGI PHOTO (株)アオヤギ写真工芸社

東京都北区田端2-1-18 TEL: 03-3823-3388

春季限定 診療時間を拡大します

4月~6月

春は予防の季節です

狂犬病・混合ワクチン
ノミ・ダニ・フィラリア

予防接種と一緒に健康診断(血液検査)をして、愛犬・愛猫の健康を守りましょう。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:00	●	●	●	×	●	●	●
16:00~20:00	●	●	●	×	●	●	-
14:00~17:00	-	-	-	×	-	-	●

☆平日13:00~16:00は予約にて診療を承ります。(手術や検査・処置の状況により異なりますので、当日の午前中にご予約ください)
☆住診もご相談ください。
☆水曜日は19:00までとなります。

西ヶ原ローズ動物病院

北区西ヶ原1-25-3
☎6903-4983 ●木曜休診
駐車場は近隣パーキング利用可
http://rose-vet.pro

西ヶ原ローズ 検索